



## 地下鉄短信 (第583号) 令和5年12月25日発行

編集 (一社)日本地下鉄協会 責任者 佐々木雅多加

電話 03-5577-5182(代) FAX 03-5577-5187



記事 ○ 「令和5年度地下鉄事業現地見学会」 の開催

○ 「令和5年度地下鉄事業現地見学会」 を開催しました。

去る、12月12日(火)に、「令和5年度地下鉄事業現地見学会」(以下、「現地見学会」という。)を普通会員及び賛助会員(16社局)27名を含む33名の参加を得て開催しました。

現地見学会は、地下鉄事業者等のご協力の下に、会員の技術・知識の向上と会員相互の啓発・交流の場として、平成11年度から毎年実施してきたものです。

新型コロナの影響で、2020年から2年間中止しておりましたが、昨年(2022年(令和4年))見学会を再開し、東武鉄道(株)様のご協力のもとに東武伊勢崎線とうきょうスカイツリー駅付近の連続立体交差事業の見学会を開催したところです。

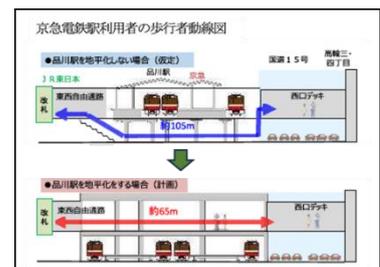
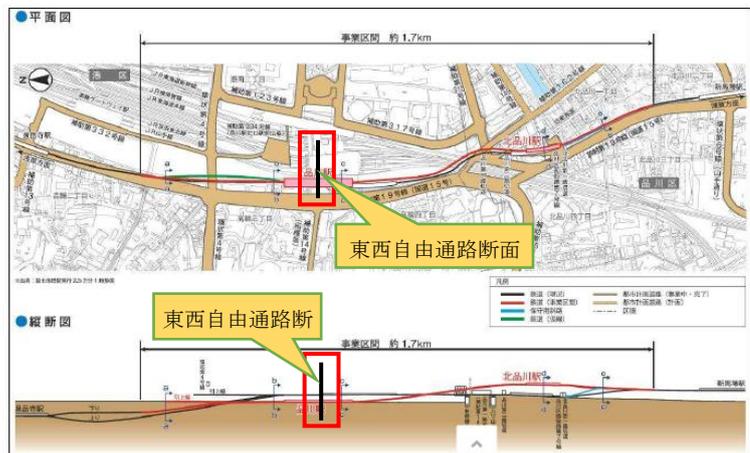
今回は、品川駅付近(泉岳寺～新馬場駅間)連続立体交差事業及び高輪ゲートウェイ駅周辺の再開発プロジェクトに係る見学会を京浜急行電鉄(株)様並びに東日本旅客鉄道(株)様のご協力により開催しました。

### 【前半の部】「品川駅付近(泉岳寺～新馬場駅間)連続立体交差事業」について

品川駅付近連続立体交差事業については、東京都が事業主体となり、港区、品川区、京浜急行電鉄と連携し、京浜急行本線の地下駅である泉岳寺駅から新馬場駅までの約1.7kmの区間について、道路と鉄道を連続的に立体交差化する都市計画事業です。

今回の見学会では、京浜急行電鉄(株)建設部品川連立・泉岳寺駅担当 笠井様から事業の概要説明の後、多数の関係者の方から現場説明をいただきました。

現在の高架駅である2面3線の品川駅をJR線と同じ地上に線路を移設して2面4線とし、位置も現在地から泉岳寺駅方面へ移設するものです。京急本線を地平化することにより、港南口と高輪口を結ぶ東西自由通路を完全フラット化し西側にそのまま延伸することが可能となり、国道15号を挟んだ品川駅西側高輪地区との一体的な開発



となるそうです。

駅周辺工事の概要は、高架駅である現品川駅を隣接する山手線横の地平に移設する一方、南側に隣接する地平の駅である北品川駅を高架化し、品川、北品川両駅間を最急こう配で擦り付けるもので、現在仮設鋼製構台を構築しており、この仮設鋼製構台上に本設トラス桁を築造し、JR線の上空を送り出しながら本設トラス桁を架設するとのことです。

今後、どのように進捗していくのか非常に興味を持たれるところです。

また一方、都営浅草線との乗換駅で地下駅である泉岳寺駅との接続部付近では、南行線のトンネル上の掘削が進み、現在トンネル上部が見られる状況で、今後南行線の仮線切替えに向けて既存トンネル躯体を改築していくそうです。



仮設鋼製構台の構築状況

トンネル上部の掘削状況

#### 【後半の部】「高輪ゲートウェイ駅周辺の再開発プロジェクト事業」について

続いて、品川駅に隣接する高輪ゲートウェイ駅に移動し、後半の部の高輪ゲートウェイ駅周辺の再開発プロジェクト事業について見学しました。

高輪ゲートウェイ駅は、2020年3月14日に山手線では49年ぶりに開業した新駅で、周辺の再開発として、品川開発プロジェクト（第I期）が計画され、2025年3月の“まちびらき”を目指して街路の築造やビルの建設工事が進捗しています。

駅舎のデザインは新国立競技場の設計者である隈研吾氏が、駅舎照明は東京駅丸の内駅舎のライトアップを手掛けた面出薫氏が担当し、駅舎内には最新テクノロジーを駆使した無人コンビニが出店しています。



高輪ゲートウェイ駅

今回の見学会は、東日本旅客鉄道(株)マーケティング本部まちづくり部門品川ユニット（事業計画）の山縣様ほか2名の方にご案内いただきました。

エキナカ無人コンビニの視察の後、映像と模型の部屋に移動し、ここで、模型のバックに映像を組み合わせた演出で、ビジネス・文化の育成・交流・発信機能、



高輪ゲートウェイ駅周辺の再開発プロジェクト事業俯瞰図

【画像提供・JR 東日本】

居住・滞在機能など国際競争力強化に資する都市機能の導入、エネルギーシステムの導入による防災対応力強化、未利用エネルギーの有効利用等による環境負荷低減などについて説明をいただきました。

今回は、事業区域内の建築工事が錯綜しているため、高輪築堤を見学できませんでしたが、高輪ゲートウェイ駅周辺の再開発プロジェクト事業の想像以上の多機能なまちづくりの取り組みについて説明を受け、参加者から未利用エネルギーの有効利用など多くの質問が出されるなど、関心の高さが伺えました。

最後に、業務多忙な中、このような「品川駅付近連続立体交差事業」及び「高輪ゲートウェイ駅周辺の再開発プロジェクト事業」を見学できたことは、京浜急行電鉄並びに東日本旅客鉄道の皆様のご協力の賜物であり、厚く御礼申し上げます。

(注) 必要に応じ、社内へ転送、回覧などをお願いします。

配信先を変更又は追加した方がよい場合は、新しい配信先の職名、氏名及びメールアドレスをお知らせ下さい。

本短信について、ご意見をお寄せ下さい。

連絡先: [sasaki@jametro.or.jp](mailto:sasaki@jametro.or.jp)